

西高30選 図書目録



- ①過去3年間の推薦書150冊の中から、個人の好みに合う30冊を選び、読破しましょう。
・シリーズものは、何冊読んでも1冊とカウントします。
・今年度の対象は2016～2018年度 of 作品です(過去のリストは図書館にあります)。
- ②選んだ本について、感想を裏面のコメント欄に記入してください。
- ③30冊読破してコメント欄記入も済んだ場合は、この用紙を図書館に提出してください。
- ④30選達成者には、年度末に表彰の上、副賞(図書カード)が授与されます。

ジャンル	著者	書名	推薦理由
岡山ゆかりの著者	1	娘に語る歴史 (重松清)	お父さんが、自分の生まれた時代について娘に語る本(図書委員推薦)
	2	楽園のカンパス (原田マハ)	アンリ・ルソーの絵をめぐる不思議な物語。大原美術館の描写から始まるので興味深い。
	3	屍人荘の殺人 (今村昌弘)	奇想と本格が融合する傑作ミステリー。このミステリーがすごい2018」で第1位。著者は岡大出身。
感動	4	空飛ぶタイヤ (池井戸潤)	最後に大逆転するストーリーで読んでいて引き込まれる(図書委員推薦)
	5	かがみの孤城 (辻村深月)	生きづらさを感じているすべての人に贈る物語。(図書委員推薦)
	6	母性 (湊かなえ)	母の手記と娘の回想が交錯、同じ出来事でも感じ方は違ってくる...新しい「母と娘」の物語。
生きる・悩み	7	颯風王 (河崎秋子)	馬とかかわる数奇な運命を持つ家族の、明治から平成まで6世代の歩みを描いた感動巨編。
	8	いま、君にさよならを告げる (S. D. 011-17)	不本意にも幼い娘を残して死んでしまった「ぼく」はなんとかならないのかと必死に願うばかりだった...
	9	ヒトリコ (額賀滯)	苦しみなながらも毎日を生きている少女の話。痛々しいけどリアリティがある。(図書委員推薦)
青春	10	学校に行けなかった私が「あの花」「ここさけ」を書くまで (岡田廣里)	重苦しいのに引き込まれる。人気アニメの原作者が自らの不登校体験を書いた自伝。
	11	コンビニ人間 (村田紗耶香)	コンビニでバイトを続ける恵子の心が、新入りのバイトのせいでかき乱されていく。「普通」とは何かを描く芥川賞受賞作。
	12	時をかけるゆとり (朝井リョウ)	朝井リョウ自身の面白い青春時代の話(図書委員推薦)
青春	13	拝啓、十年後の君へ。(天沢夏月)	10年前に書いた「今の自分」への手紙が運命を変えた...心あたまる話(図書委員推薦)
	14	きょうの日はさようなら (一穂ミチ)	双子の姉弟のもとに突如やってきた年の近い従姉。実は長い眠りからさめたばかりの三十年前の女子高生だった...
	15	九月の恋と出会うまで (松尾由美)	「書店員が選んだもう一度読みたい恋愛文庫第1位」に輝いた、時空を超えた奇跡のラブストーリー(図書委員推薦)
恋	16	ナラタージュ (島本理生)	高校時代、片思いをしていた先生から電話が届く。だが、先生の過去には大きな秘密が。必読の恋愛小説(図書委員推薦)
	17	毎年、記憶を失う彼女の救いかた (望月拓海)	理不尽な運命に翻弄されていた私は、ある男性と出会ったことで自分についての驚愕の真実を知る。
	18	蒼空時雨 (綾崎隼)	偶然の「雨宿り」から始まる、切ないラヴ・ストーリー。謎だらけの設定が次々と解き明かされる新感覚の恋愛小説。
ミステリー	19	劇場 (又吉直樹)	たったひとつの不器用な恋。夢と現実のほざまにもがきながら、かけがえのない大切な誰かを想う、切なくも胸にせまる恋愛小説。
	20	ローマ帽子の秘密 (E・クイーン)	本格ミステリー小説の元祖ともいえるエラリー・クイーンの国別シリーズ第1作。ミステリー小説の古典の一つ(図書委員推薦)
	21	先生と僕 (坂本司)	身のまわりにあるいろいろな「？」を解決すると同時に、古今東西のミステリー作品を紹介していく連作短編集(図書委員推薦)
現代社会	22	分身 (東野圭吾)	自分とそっくりな人がいる...そう知った2人が出会うシーンまで、読む手が止まらない面白さ(図書委員推薦)
	23	七回死んだ男 (西澤保彦)	どうしても殺人が防げない! ? 不思議な時間の「反復落し穴」で、甦る度に、また殺されてしまう。少年探偵がその謎に挑む。
	24	青の炎 (貴志祐介)	愛する母と妹を守るため、家の中でやりたい放題の義父を殺した高校生の秀一。完全犯罪に挑んだその結末は?(図書委員推薦)
現代社会	25	化物語 (西尾維新)	独特の世界観、登場人物達のキャラクター、読んでいて損はない作品(図書委員推薦)
	26	難民調査官 (下村敦史)	彼らは守るべき難民か、凶悪なテロリストか? 難民問題の裏側を描くサスペンス小説。
	27	絶対正義 (秋吉理香子)	5年前に殺したはずのあの女からパーティーへの招待状が届く。「正義」のかたまりのようだったあの女。なぜ今、招待状が?
現代社会	28	横浜駅SF (柞川湯葉)	「日本は自己増殖する<横浜駅>に支配されていた」。奇抜な設定ながら本格SFとして評価は高い。
	29	リプレイ (K・グリムウッド)	タイムトラベル小説の古典として不朽の名作の一つ。主人公はアメリカの80年代と60年代を駆け巡っていく。
	30	知ってはいけない (矢部宏治)	この国を動かす「本当のルール」とは? 戦後史の闇に迫る「知らないといけない」真実が語られる。
現代社会	31	お金2.0 (佐藤航陽)	お金という幻想から覚めたとき、自分の人生の幸せと向き合える。今まさに始まりつつある「新しい経済」を解説。
	32	わかりあえないことから (平田オリザ)	近頃の若者に「コミュニケーション能力がない」というのは本当なのか。コミュニケーションについて考える本。
	33	沈みゆく大国アメリカ (堤未果)	同書名で2冊あるが、副題が「逃げ切れ! 日本の医療」のほう。日米の医療制度について考える本。
現代社会	34	2020年の入試問題 (石川一郎)	2020年から大学入試のやり方が変わる。どう変わるか、その改革の目的は? 現代日本の教育制度を考える本。
	35	未来の年表 (河合雅司)	これからの日本がどうなるか、具体的に示したあと有効な解決案を提示。これ1冊で今の日本が分かるかも。
	36	徳川がつくった先進国日本 (磯田道史)	「徳川の平和」がもたらした大いなる遺産を、4つの歴史的事件から時代をさかのぼって解説。
歴史	37	日本国最後の帰還兵 (深谷敏雄)	中国戦線でスパイとして活躍した憲兵・深谷義治とその家族が、戦後に味わった壮絶な物語。
	38	知らなかった、ぼくらの戦争 (A・ピナード)	外国人である著者が、日本人の太平洋戦争体験者たちを訪ね歩き、戦争の実態を知っていく本。知らないままでは済まされない。
	39	教科書 新聞でくまの太平洋戦争	日本とアメリカの当時の教科書、新聞の具体的な記述を引用し、その内容を比較し太平洋戦争を検証する一冊。
理系	40	AI vs 教科書が読めない子どもたち (新井紀子)	AIの誤解・限界を示す一方で、日本人の読解力の低下を指摘。AIと教育について考えさせられる本。
	41	新版 動的平衡 (福岡伸一)	「命の不思議」の新たな深みに読者を誘う。哲学する分子生物学者・福岡ハカセの生命理論、決定版!
	42	感動する数学 (桜井進)	数学と私たちの生活は意外なところで繋がっている。数学の魅力をわかりやすく伝える好著。
理系	43	センス・オブ・ワンダー (R・カーソン)	美しいもの、未知なもの、神秘的なものに目を見張る感性「センス・オブ・ワンダー」を育むために、子どもと一緒に自然を探検。
	44	リレートーク言葉の力人間の力	4名の著名人が、次の世代にはぜひ、このような生き方を伝えたいということで対談している本。
	45	母さん、ごめん (松浦哲也)	「がんばる」だけではどうにもならない。科学ジャーナリストである著者が、実際に経験した介護について、わかりやすく語る。
その他	46	ミライの授業 (瀧本哲史)	著者が全国の中学校を訪れて開講した特別講義「未来をつくる5つの法則」のエッセンスを凝縮した一冊。
	47	マルカン大食堂の奇跡 (北山公路)	「マルカン百貨店」が老朽化のため閉店。「マルカン大食堂」を再オープンに導いた若者たちの運動を描いたノンフィクション。
	48	学年どりのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話 (坪田信貴)	勉強にくじけず頑張れる本(図書委員推薦)
その他	49	まんがでわかるまんがの歴史 (大塚英志)	豊富な資料を駆使し戦中、戦前まで遡って日本まんがのルーツを紐解くサブカルチャー研究コミック。
	50	表参道のルビー犬と加賀の要塞の野良犬 (若林正恭)	売れっ子芸人の著者が、ふと現状に疑問を感じて5日間のキューバへの旅に出る。予想以上に読み応えのある旅エッセイ。